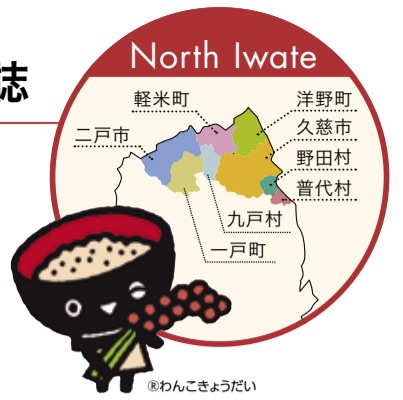


2019 北 い わ て の 魅 力 を 伝 え る 広 報 誌

北いわて最前線



地域の宝を世界の財産に。悠久ロマンを後世へ。



御所野遺跡



三陸ジオパーク

大地の記憶を宿す半崎の野田層群(久慈市夏井町)

縄文時代の人々の暮らしを今に伝える「御所野遺跡」、5億年に及ぶ大地の歴史を刻む「三陸ジオパーク」。悠久の時間を抱く2つの地域の宝が、今、大きな節目を迎えようとしています。「地域の宝」を後世に伝えていくために、みんなで力を合わせてその機運を盛り上げていきましょう。

御所野遺跡



イコモス現地調査に向けたリハーサルの様子

一戸町にある御所野遺跡は、約4000年前の縄文時代の「むら」の様子を現代に伝える集落跡です。今年7月、御所野遺跡を含む「北海道・北東北の縄文遺跡群」が世界文化遺産推薦候補に選定されました。イコモス(※)による現地調査や評価を経て、再来年の夏頃、ユネスコ世界遺産委員会において、世界遺産登録認定の審議が行われる予定です。世界遺産登録に向けて、興味関心を高めていきましょう。

※イコモス(ICOMOS)…国際記念物遺跡会議

● 世界遺産登録に向けた今後のスケジュール ●

2020年2月1日まで	国からユネスコ世界遺産センターへ推薦書を提出
2020年秋頃	イコモスによる現地調査
2021年5月頃	イコモスによる評価結果の動告
2021年夏頃	ユネスコ世界遺産委員会において審議

三陸ジオパーク



地域の方々が参加したジオパークツアーの様子

三陸ジオパークは、青森県八戸市から岩手県沿岸を縦断し、宮城県気仙沼市まで及ぶ日本一広大なジオパークです。このうち、県北エリアのジオサイトでは、多彩な海岸地形が生み出す美しい景観や琥珀をはじめとする豊富な鉱物資源が見られるのが特徴です。

今年秋には、再認定審査を控えており、2度目の再認定を目指して、受入れ態勢整備や地域の機運醸成に向けた取組を実施するなど、地域全体で準備を進めています。

● 再認定登録に向けた今後のスケジュール ●

2019年11月12~14日	日本ジオパーク委員会による三陸ジオパークの再認定審査実施期間
2019年12月下旬	再認定審査結果公表(予定)

contents

P.2 特集1

「働くなら県北、育てるなら県北、暮らすなら県北」の実現を目指して

女性活躍・子育て企業を応援します!



P.4 特集2

世界へ届け! 感謝の気持ちと三陸の魅力

三陸防災復興プロジェクト2019



P.6 県北広域トピックス2019

復興に取り組みながら、お互いに幸福を守り育てる

希望郷いわて



P.8 みちのく潮風トレイル

全線開通! みちのく潮風トレイルを歩こう!

[アンケート & プレゼント]



特集1

「働くなら県北、育てるなら県北、暮らすなら県北」
の実現を目指して

女性活躍・子育て企業を
応援します！ 結婚も



県北地域には、アパレル産業や食産業など、女性が活躍している企業がたくさんあります。
今回は、そうした企業を支援する制度や、実際に制度を活用している企業の声を紹介します。

県北広域振興局が
目指す姿

— 局長からのメッセージ —



県北広域振興局
局長
南 敏幸

県北地域の特徴のひとつとして、女性従業者数の割合が高いことが挙げられ、特に、県北地域が世界に誇る食産業やアパレル産業で顕著に表れています。このような県北地域の強みを生かした人材確保や人口減少への対応として、今回紹介する制度等の周知と普及に力を入れています。若者や女性が活躍できる職場づくりや、男女がともに子育てしやすい職場環境づくりをすることで、「働くなら県北、育てるなら県北、暮らすなら県北」という県北地域の新たなイメージ形成に繋げていきたいと考えています。

また、雇用環境の充実に加え、地場産業の高い技術や品質等の強みを生かし、未来技術（AI、IoT等）や経営革新等による更なる産業振興を図るため、産学官連携・異業種連携による新たな推進基盤として、令和元年10月、北いわて未来づくりネットワークの設立を予定しています。今後も様々な県北地域の強みを生かし、産学官関係者が一丸となって、県北地域の未来づくりを進めていきます。

「誰もが生きやすい未来」をつくる

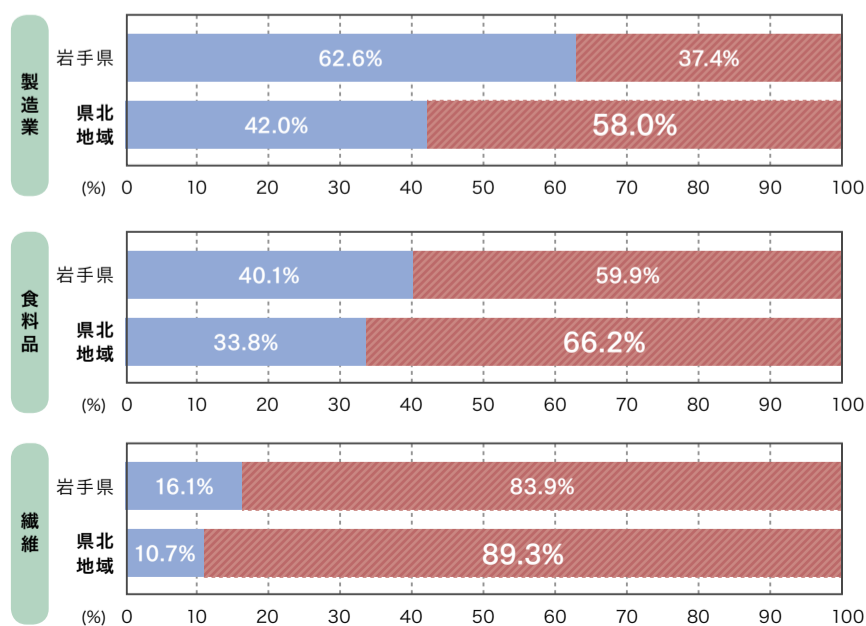
県北が全ての住民にとって暮らしやすい地域になるよう、県北広域振興局では、女性活躍や子育て支援制度の普及啓発などの取組に力を入れています。

少子化の進展や、就職や進学に伴う若者の転出などにより、全国的に人手不足が続いています。それを解消するための方策のひとつが「雇用・労働環境の改善」です。これは、女性や高齢者、障がい者など働く意欲のある全ての人が、希望する仕事に就けるよう、職場環境や支援制度を整える取組です。

アパレル産業や食産業が盛んな県北地域では、女性が活躍している企業が多くあります（図参照）。これらの企業の雇用環境をより良くするためには、「女性が活躍できる職場づくり」「男女がともに子育てしやすい職場づくり」が必要です。そして、この取組が企業の成長や地域産業の発展、さらに「働

県北地域のアパレル産業や食産業等で
女性が活躍しています

図 従業員数の男女の割合（従業員4人以上の事務所）（2017年）



くなら県北、育てるなら県北、暮らすなら県北」の実現、地域の幸福度向上につながることでしょう。そのため今年度は、女性活躍や子育て支援に取り組み企業をネットワーク化し、結婚支援と働き方

改革にも取り組んでいきます。そこで今回は、県が行っている女性活躍や子育てにやさしい職場づくりに取り組み企業を認定・認証する制度と、結婚を希望する方々を応援する「i-サポ」について紹介します。

いわて女性活躍企業 ステップ2 認定企業



(有)タニムラフード
サービス(久慈市)
中抜部
本波 恭子さん

当社は2018年9月に「ステップ2」に認定されました。満たした認定要件の一つが、「今まで女性が少なかった職務に女性の配置を増員」したこと。男性のみ従事していた「生鳥処理加工」の作業を細分化することで、女性も従事できるようにしました。それ以外でも、以前から女性が働きやすいような様々な取組をしています。私は産休・育休の制度を利用し、2人の子供を保育園に預けながら働いています。今年の9月には、いわて子育てにやさしい企業認証も受けました。こうした取組や認定をさらにPRすることで、人材確保につながると思います。

いわて子育てにやさしい企業 認証企業



(株)小松製菓
(二戸市)
代表取締役社長
小松 豊さん

当社の従業員は7割が女性です。認定を受けたのは2016年ですが、それ以前から、子育て世代のサポートには積極的に取り組んできました。通常の産休・育休制度に加え、子どもが小学3年生になるまで時短勤務が選択できたり、入園時に保育手当を支給するなど独自の制度を設定しています。実際に制度を活用している社員も多くおり、男女問わず、子育て中の人に対し、理解のある雰囲気や会社全体として醸成できていると思います。認証制度はいわば「おすみつき」をいただいたようなもの。採用活動では一つのアピールポイントとして伝えられ、社員にとっても、これから入社してくる人にとっても、長く働き続けられる企業であるという安心感につながっているのではないかと思います。

認定・認証されると様々なメリットがあります。

職業安定所の求人登録票に「女性活躍企業」として表示され、女性でも働きやすい企業であることをアピールできます。



私も活躍できるかも

子育てに協力的なの

いい会社ね!



子育て支援に取り組む企業としてのイメージアップにつながり、子育て世代も安心して長く働き続けることができます。

- 県単融資制度(県商工観光資金)にかかる保証料率の引き下げ(0.05%)の対象になります ★☆
- 日本政策金融公庫の特別貸付制度「働き方改革推進支援資金(地公体推進施策関連)」を利用できます ★☆
- 県が発注する特定の施策に係る物品納入(10万円以下)と印刷物製作業務(30万円以下)の契約について優先されます ★☆
- 2019・2020県営建設工事競争入札参加資格審査基準の技術等評価点数の加点項目に追加されます(令和元年6月~) ★☆

※★印については、いわて女性活躍企業等認定制度はステップ2のみの対象となります。 ☆印については、制度の利用にあたり各種要件がありますので、詳細についてはお問合せください。

認定・認証基準の一例

※それぞれ認定・認証されるとマークを使用することができます。

いわて女性活躍認定企業等 ステップ1

- 県が主催する女性活躍関連セミナーに参加している 等

いわて女性活躍認定企業等 ステップ2

- 今までに女性が少なかった職務に女性の配置を増員している
- 女性管理職の人数を増員している 等

いわて子育てにやさしい企業等認証・表彰制度

- 子育て支援を推進する取組を行っていること。この取組を、就業規則又は労働協約に規定していること 等

上記の認定基準は一例です。
詳しくは県のホームページを御覧ください。



「女性の活躍」に積極的に取り組む企業等を、2つのステップに分けて認定する制度です。認定の対象は、岩手県に本社又は主たる事業所を置く企業、個人、法人、団体です。令和元年9月1日現在、「ステップ1」に29社(県北管内10社)、「ステップ2」に65社(県北管内11社)が認定を受け、雇用環境の充実や人材確保につながっています。

いわて女性活躍企業等
認定制度

仕事と子育ての両立支援など、女性はもちろん男性も働きやすい職場環境づくりに取り組む企業などを認証し、さらに、成果があつた企業を表彰する制度です。対象企業は、岩手県に本社又は主たる事業所があり、常時100人以下を雇用している中小企業等です。令和元年9月1日現在、92社(県北管内16社)の企業等が認証を受け、優遇制度などを活用しています。

いわて子育てにやさしい
企業等認証・表彰制度

「いわて女性活躍認定企業等」の認定について

お問い合わせ先 県庁環境生活部若者女性協働推進室 女性活躍支援担当 ☎019-629-5346

「いわて子育てにやさしい企業等」の認証について

お問い合わせ先 県北広域振興局二戸保健福祉環境センター ☎0195-23-9202
県北広域振興局保健福祉環境部 ☎0194-53-4982



Step1 電話連絡
入会条件
入会できる方は、岩手県にお住まいかお勤めの方、又は県外にお住まいでも結婚後お相手の方と岩手県に居住できる方で、結婚を希望し、自ら努力される20歳以上の独身の方です。(令和元年8月31日現在 累計会員数 2,148名)

Step2 会員登録
会員登録の方法
入会申込書に必要事項を記入し、必ず電話で来所予約をしてからおいでください。来所時には、入会申込書と本人・住所を確認できる書類、独身を証明する書類、写真、入会登録料を御持参ください。
①入会申込書は、ホームページからもダウンロードできます。センターで御記入いただいても結構です。
②個人情報の管理を徹底するため、来所予約、入会手続及びお相手検索は、御本人のみで行っていただきます。

Step3 お相手検索

Step4 お見合い申込

Step5 お見合い
入会登録料及び会員有効期間 登録料1万円 2年間有効

Step6 交際スタート
入会登録料は1万円(市町村によっては、助成金制度あり)で、登録日から2年間有効です。会員期間が終了した場合は、自動的に退会となります。引き続き会員登録を希望される場合は、改めて登録手続を行っていただきます。入会後は、登録料以外の費用はかかりません。

Step7 結婚・退会

「いきいき岩手」結婚サポートセンター「i-サポ」は、岩手県と県内市町村、民間主要団体が連携し、(公財)いきいき岩手支援財団が運営する公的な結婚相談所です。岩手での結婚を希望する独身男女に出会いの場を提供し、結婚の支援をすることを目的としています。

「i-サポ」では主に、マッチング方式による登録会員の見合いと、県内の結婚支援団体のイベント情報を、メルマガ登録した個人や団体に対して、提供しています。また、i-サポの趣旨に賛同する「社員の結婚応援企業」や協賛金によりi-サポを支援する「協賛団体」の募



<https://www.ikiiki-iwate.com/>

お問い合わせ先
久慈・i-サポ宮古 ☎0193-65-7222
二戸・i-サポ盛岡 ☎019-601-9955



集も行っていきます。
センターは盛岡市、宮古市、奥州市にあります。月2回、久慈市と二戸市などでも出張サービス「おでかけi-サポ」を開設しています。日程や会場などの詳しい情報は、ホームページを御覧ください。

結婚について個人も企業も応援!
「i-サポ」を活用しよう!

特集2 世界へ届け! 感謝の気持ちと三陸の魅力

三陸防災復興プロジェクト2019

東日本大震災から9年目を迎え、三陸鉄道の全線開通、ラグビーワールドカップ2019の釜石開催など、三陸エリアが国内外から注目を集める今年、これまでの支援に対する感謝と防災意識の向上、そして新たな三陸の魅力発信を目指し、6月1日から8月7日まで「三陸防災復興プロジェクト2019」が開催されました。



[基本コンセプト]

三陸がつながる。
日本各地や世界とつながる。
ひとつになって 更に前に進む。

シンポジウムの会場では、併せて三陸防災オープニングセレモニーや三陸防災復興シンポジウムの会場では、併せて三陸防災

6月28日には、久慈市のアンバーホールで、三陸防災復興シンポジウムが開催されました。「なりわいの再生と新たな三陸の創造」というテーマで、単に元に戻すことにとどまらない産業振興のあり方について議論を深めました。

期間中は沿岸13市町村を会場に、「国内外に向けた防災復興の発信」「三陸の豊かな自然環境」「三陸を元気にする文化・芸術・スポーツ・食の力」「三陸鉄道や車での周遊」につながる、計22の多彩な事業が展開されました。県北地域では、22の事業のうち18事業を実施しました。



歌を届ける八神純子さん



米国大使館のヤング臨時代理大使

三陸防災復興プロジェクト2019は、6月1日に釜石市民ホールTETTOOで行われたオープニングセレモニーで開幕しました。海外からの復興支援に関する米国大使館ヤング臨時代理大使による講演や、ゲストの八神純子さんによるトーク&ライブなどが行われ、国内外の多様なつながりを深めるセレモニーとなりました。

今回のプロジェクトは、地域の皆さんにとっても、自分たちが暮らすエリアの魅力を再発見する機会になりました。プロジェクトは終了しましたが、復興への道のりはこれからも続きます。県ではプロジェクトを通じて生まれた新たな出会いやつながりを、これからの三陸の復興と発展に生かしていきます。

続くクロージングコンサートでは、世界的音楽家の坂本龍一さんが、東北ユースオーケストラのメンバーとともに全7曲を披露。美しい音色とともに、復興への思いを新たにしました。

8月7日に陸前高田市の夢アリーナたかたで開催されたクロージングセレモニーでは、俳優の村上弘明さんをストーリーテラーに迎え、2か月間にわたるプロジェクトを映像とともに振り返りました。また、「未来への希望」と題して、地域課題の解決に向けたビジネスプランの作成に取り組む高田高校の生徒たちと、同プロジェクトをサポートする団体のメンバーが壇上でスピーチ。これまでの取組や、完成したビジネスプランを紹介しました。若い世代の未来を見据えた力強い提言は、来場者に大きな希望と勇気を与えました。



地震体験車「防災そばっ号」

復興展示会が開催されました。応急手当の体験や、災害支援車両の展示、東日本大震災津波の被害状況や復旧の様子が分かるパネルの展示などが行われ、日常生活における防災意識の向上につながりました。

クロージングセレモニー

8月7日(水) 夢アリーナたかた(陸前高田市)



坂本龍一さんの名曲をピアノ五重奏で演奏



会場には大勢の方々が訪れた



不来方高校音楽部による合唱



陸前高田市出身の俳優・村上弘明さん



高田高校生による「未来への希望スピーチ」

北いわてエリアイベントスナップ

三陸ジオパークフォトゲイニングフェスティバル in 普代村&野田村

7月6日(土)



運動、まちあるき、ジオ教育、潮風トレイル、震災教育と多くの要素がありました。

震災以来初めて沿岸に来ましたが、実際に歩いて現地の様子が分かってよかったです。



東日本大震災津波から町を守った普代水門の前で。



たくさんの琥珀が採れた「玉山土内くんのこほっば跡」。久慈地方の方言で「くんのこ」は琥珀、「ほっば」は採掘を意味します。

地図をもとに、時間内にチェックポイントで決められた写真を撮り、その得点を競う「フォトゲイニング」。三陸ジオパークやみちのく潮風トレイル内にある景勝地や震災遺構、ジオサイトなどを巡りながら、北三陸エリアの美しい景色と歴史や文化を楽しみました。

普段なら通り過ぎてしまうような場所も、自分の足で歩くことで新たな発見がありました。

さんりく音楽祭2019 in アンバーホール

将来世界で活躍するような、スーパーキッズの演奏を生で聴けてよかったです。

合唱、吹奏楽、オーケストラなど盛りだくさんのステージでした。



久慈会場



8月3日(土) 久慈市文化会館

世界的指揮者・佐渡裕さんとスーパーキッズ・オーケストラによる熱演。達増知事や久慈市長が指揮する場面も。アンコールでは、出演者・来場者が一体となり「花は咲く」「ふるさと」を合唱しました。

どの演奏者も、思いがこもった演奏で感動しました。



洋野会場

8月4日(日) 種市駅前広場

スーパーキッズオーケストラが息の合った演奏を披露しました。青空の下、屋内とはまた違う美しい音色が響きました。

三陸ステーションガーデンプロジェクト

6月1日(土)~8月7日(水)



三陸鉄道久慈駅と宮古駅において、三陸観光の玄関口にふさわしいステーションガーデンを創作。久慈駅前には、久慈東高校のみなさんが制作したプランターによって彩られました。

三陸プレミアムランチ列車

6月15日(土)・7月14日(日)



三陸鉄道レトロ列車に乗って、風光明媚な三陸の景色を眺めながら、旬の三陸産食材を使ったランチを楽しみました。料理の監修は「賛否両論」の店主である笠原将弘シェフ。車内では笠原シェフのトークショーも行われました。

美食サロン

6月1日(土)~8月7日(水)



三陸の食を軸に据えた地域振興を図ることを目的とする「美味(うめ)えがすと三陸Gastronomy SANRIKU 構想推進プロジェクト」の一環として、沿岸部の13市町村のレストラン・飲食店において、国内外の料理人と地元の料理人が協働して創作した料理の提供が行われました。

写真は、久慈市のフュージョンディナーで振る舞われた、ホタテと銀河のしずくを使用した炊き込みご飯です。

ういの炊き込みごはん
いくらのせ&短角牛の
ローストビーフ
(メニューの一つ)



東北広域
トピックス
2019

復興に取り組みながら、お互いに
幸福を守り育てる希望郷いわて

東北地域では地域の特性を生かしながら、農林水産業や企業の支援、まちづくりの活動など、魅力あるふるさとを創造していくため、いわて県民計画（2019～2028）地域振興プランに基づく取組を進めることとしています。



震災の経験と教訓を伝える
「復興の現場見学会」を開催

東北広域振興局では、東日本大震災津波の記憶と教訓の風化を防止するため、今年8月、「復興の現場見学会」を開催しました。三陸鉄道久慈駅から震災学習列車に乗り込んだ参加者は、三陸鉄道が運行を再開するまでの奮闘や、津波が来た時にどうやって自分の身を守るか、久慈駅長のガイドを聴きながら、普代駅へと向かいました。普代村では、東日本大震災津波による被害を最小限に抑えた「普代水門」を見学し、巨大な津波の恐ろしさと、災害に備える大切さを学びました。

震災の記憶を忘れず、一人一人が災害に備える危機意識を持って防災に取り組めるよう、今後も風化防止のため、様々な手段で情報発信していきます。



野田村での震災ガイドの様子



三陸震災学習列車内の様子



もぐらんぴあで起きた震災当時の話に耳を傾ける

お問い合わせ先

東北広域振興局 経営企画部 復興推進課
TEL.0194-53-4981

河川の水位監視体制を強化し
住民の迅速な避難につなげる

県では、近年全国で多発する豪雨災害を踏まえ、大雨時の観測を強化するため「危機管理型水位計」を県内325基260河川（県北管内58基42河川）に設置し、5月24日から運用を開始しました。危機管理型水位計は、大雨で水位が上昇すると、10分ごとに水位を配信します。以前から運用している常時観測型水位計の観測による水位情報に加えて、よりきめ細かく河川の水位を確認できるようにになり、住民の迅速な避難行動につながることを期待されます。危機管理型水位計で観測した水位情報は、ウェブサイト「川の水位情報」で確認することができます。



設置効果イメージ（久慈市 久慈川水系の例）



遠別川（久慈市）に設置されている危機管理型水位計

お問い合わせ先

東北広域振興局 土木部 河川港湾課
TEL.0194-53-4990

「川の水位情報」で確認することができます。常時観測型水位計の情報と併せてぜひ活用し、安全確保に役立ててください。（常時観測型水位計の情報は、ウェブサイト「岩手県河川情報システム」で確認できます）



川の水位情報
https://k.river.go.jp/

需要が高まる浄法寺漆の
安定供給に向けた取組を展開

国内で使われる漆のうち、国産はわずか3%で、その7割程度が浄法寺漆です。平成27年2月、文化庁が重要文化財等の修復に国産漆を使用する方針を示したことから、浄法寺漆の需要はさらに拡大しています。そこで、県では増産と安定供給に向けた事業等を展開しています。

漆の増産を進めるためには漆原木が必要となるため、県では、研修会の開催やマニュアルの作成により、漆苗木増産に取り組んでいます。



まもなく植栽をむかえる3年生の漆苗木

お問い合わせ先

東北広域振興局 農政部
二戸農林振興センター林務室
TEL.0195-23-9204

※G-I保護制度…生産地等の特性が、品質等の特性に結びついてる産品の名称（地理的表示）を知的財産として登録し、保護する制度。浄法寺漆は昨年12月に登録。

今後、「浄法寺漆」の地理的表示（G-I）保護制度（※）登録を契機に、ブランド力を高め、漆生産と漆器の総合産地として地位向上を図ります。

また、地元の飲食店等への漆器貸出しや、地域の小学生の絵付け体験用コースターの製作など、地元の皆さんが漆器に親しみを持つ機会の創出にも努めています。

夏の恒例イベント開催 若者がつながりを深める場に



晴天の下、大勢の人が参加した



日本が勝利した瞬間を皆で喜んだ

二戸地域の若者が気軽に交流し、地元への思いを深める場をつくることを目的としたイベント「カシオペアサマーパーティー2019」が8月3日、シビックセンター多目的広場で行われました。3回目の開催となる今回は、ラグビーのパブリックビューイングと、馬淵川のほとりで地元特産の牛肉・鶏肉・豚肉を味わう「MBQ(まーべきゅー)」を中心に、多彩な催しが繰り広げられました。

主催したカシオペア若者交流イベント実行委員会の福原直樹さんは、「パブリックビューイングは今年初めての企画で、夜空の下、パブリックビューイング2019の日本代表対トンガ代表戦をみんなで応援しました。これまで実施してきた映画上映会にはない交流が生まれ、大いに盛り上がりました」と話します。地域の若者同士がつながりを深める絶好の機会となりました。

お問い合わせ先

東北広域振興局 経営企画部
二戸地域振興センター
TEL.0195-23-9205

地域漁業の担い手を育てる 「いわて水産アカデミー」開講



集合研修では、漁業就業を行ううえで基礎となる知識や技術を学びます



定置網漁にいそむ
岩手水産アカデミー
1期生・馬場陸さん

地域漁業を担う人材を育てるため、県では県漁業関係団体、市町村、漁協と連携して、今年度から「いわて水産アカデミー」を開講しています。第一期研修生7名は集合研修をしながら、希望する市町村で水産業の知識や技術の習得に励み、1年間の研修後は県内で漁業に就業します。

洋野町で研修をする馬場陸さん(種市高等学校海洋開発科卒業)は、海で働く両親を見て漁師を志しました。「漁業は努力が成果に結びつくため、やりがいを実感できるのが魅力です。研修でいろいろな経験を積み、定置網漁の仕事に就きたいです」と話します。

県では、漁業の基本的な知識や技術をはじめ、高度な経営手法まで幅広く身につけた、岩手の漁業に活力をもたらす担い手の育成を目指します。

お問い合わせ先

東北広域振興局 水産部
TEL.0194-53-4985



4月9日に行われた開講式

ブランド果物と産地の魅力を 紹介するPR動画を作成



PRキャラクターの「いわてブランド果物きょうだい」



アンダーパス！と児童による動画撮影当日の様子



毎年人気の収穫体験

二戸地域は、さくらんぼ、ブルーベリー、りんごなど、季節を通じておいしく高品質な果物が実る、フルーツの里です。二戸農林振興センターでは、地域産ブランド果物のPRや、園地での収穫体験などにより、多くの方々からフルーツの里二戸地域を「知ってもらおう」「来てもらおう」「買ってもらう」取組を進めています。その一環として、果物と産地の紹介動画を作成しました。

動画タイトルは「北いわてフルーツの里カシオペア連邦」です。PRソング「ふるふるフルーツ♪」(作詞作曲/アンダーパス!)に合わせて、ブランド果物の魅力を、生産者や地域の児童・生徒たちの笑顔とともに伝えています。

二戸地域で果物がおいしく育つ理由や、ふるさとの豊かな風景が、歌と映像でつづらられている動画です。ぜひ御覧ください。

お問い合わせ先

東北広域振興局 農政部
二戸農林振興センター
TEL.0195-23-9203



北いわてフルーツの里
カシオペア連邦の取組 (YouTube)
<https://www.youtube.com/watch?v=1PmYn1cARxM>

祝! 全線開通

みちのく 潮風トレイルを歩こう!

青森県八戸市から福島県相馬市までの太平洋沿岸の自然歩道をつなぐ「みちのく潮風トレイル」が、令和元年6月9日に全線開通となりました(全長約1,025km)。



みちのく 潮風トレイルとは?

「みちのく潮風トレイル」は、青森県八戸市から福島県相馬市までの太平洋沿岸をつなぐ、4県28市町村にまたがる長い長い自然歩道です。

「トレイル」とは森林や里山、海岸、集落などを通る「歩くための道」を指す言葉であり、みちのく潮風トレイルでは、太平洋をはじめとした雄大な自然が作り出す美しい自然景観を楽しめるほか、その土地の歴史や文化、人々の暮らしを体験することができます。

また、東日本大震災津波の被災地を歩くことにより、復興に向けて力強く歩みを進めている地域の姿を見ることができ、震災学習の場としても活用されています。

6月9日には、約1,025kmの全線が開通。よりダイナミックに、ロングトレイルが楽しめるようになりました。

八戸・普代間を 踏破しよう!

八戸と普代を結ぶ約150kmの区間では、踏破認定を行って

踏破認定にチャレンジしよう!

- ①「ルートマップ」と「スタンプノート」を手に入れよう
※スタンプノートはチェックポイントで無料配布しています
- ②みちのく潮風トレイルを歩きながら、コース内にあるチェックポイントでスタンプを押そう。スタンプは全部で19か所。どの区間から集めてもOK
- ③区間ごとのスタンプをすべて集めると、協力金800円と引き換えに特製ピンバッジと証明書を進呈。全区間踏破を目指そう!



区間やチェックポイントなど詳しい情報はこちらから

<http://kitasanriku-mct.jp/authorize/>

います。

コース内に設置されたスタンプを集めると、達成した区間に応じて、証明書と記念品を進呈しています(協力金1区間800円)。コースは6区間に分けられており、1区間達成ごとに、証明書と、各区間の名所・名物にちなんだ特製デザインのピンバッジをプレゼントします。またまたお休みに一気にも歩いてもよし、季節やイベントごとに足を運びながら、少しずつ踏破するもよし。自分のペースでみちのく潮風トレイルを歩きながら、北いわての魅力に触れてみませんか。

見所はココ!

洋野町



種市海浜公園

白い砂浜が広がり、波も穏やかな海浜公園。海水浴場やシーサイドハウス、キャンプ場などが整備され、トレイルの休憩場所としても最適です。

久慈市



つりがね洞

北部陸中海岸を代表する景勝地「小袖海岸」にある奇岩。かつて、花崗岩礁に空いた海食洞に釣鐘の形をした岩がぶら下がっていたことからこの名前がつけました。

野田村



マリノローズパーク野田玉川

野田玉川鉱山の一部を観光坑道として公開しています。薄暗い坑道には、人形で再現した採掘作業の様子や、世界中の宝石が展示されており、探検家の気分を味わえます。

普代村



ネダリ浜

海にそびえる岩壁に遊歩道が整備されており、風光明媚な景色が楽しめます。このほか、釣り好きにも人気のスポットで、アイナメやメバルなど季節毎に様々な釣果が狙えます。

八戸市



蕪島

種差海岸の最北に位置しており、ウミネコの繁殖地として国の天然記念物に指定されています。※蕪島神社再建工事のため、立ち入りが一時的に制限されています(2019年12月頃まで)

読者プレゼント

アンケートにお答えいただいた方の中から、抽選で10名様にプレゼント!!



御所野縄文公園(一戸町)の 縄文お土産詰合せ

ウルシのはちみつ/くるみもなか×6/はなまがりクッキー/みみかざりクッキー/御所野の恵み(雑穀パック)/アングン編みのコースター/御所野縄文博物館ペア御招待券

御所野縄文公園のミュージアムショップで販売している人気商品の詰め合わせです。ここでしか手に入らないグッズや、珍しいウルシのはちみつなどをお楽しみください。

「北いわて最前線」を最後までお読みいただき、ありがとうございます。今後より一層、誌面を充実させるため、読者の皆様の「声」をお聴かせください。

- 1 今回の記事に興味を持ったものは何ですか?(番号で回答、複数回答可)
 - ①表紙
 - ②特集1 女性活躍・子育て企業を応援します!
 - ③特集2 三陸防災復興プロジェクト2019
 - ④県北広域トピックス2019
 - ⑤みちのく潮風トレイルを歩こう!
- 2 本紙への御意見・御要望や、今後掲載してほしい内容がありましたら、御自由にお書きください。
- 3 県北広域振興局に対する御意見・御要望がありましたら、御自由にお書きください。

※回答は、右の二次元バーコードを読み込んで応募フォームから御応募ください。なお、はがき・FAXでも御応募いただけますので、住所・氏名・年齢・性別・電話番号をお書きの上、お送りください。



スマートフォン用

応募方法

[送り先] はがき 〒028-8042 久慈市八日町1-1
県北広域振興局「北いわて最前線アンケート」係
FAX 0194-53-1720 電子メール BK0001@pref.iwate.jp
[締切] 令和元年11月15日(金) 消印有効

岩手県 県北広域振興局全世帯配布広報誌 (令和元年9月発行)

編集・発行

県北広域振興局経営企画部
〒028-8042 岩手県久慈市八日町1-1 TEL: 0194-53-4981(代) FAX: 0194-53-1720 E-mail: BK0001@pref.iwate.jp

